

室内手遊しやうないてあそび摺み方たぐりかた

今迄申した摺み方いままでいひたるたぐりかたは、最初に長い四角さいしやうなながいしかくを造るの
 でしたが、今度わそいでなしたに、一のよりに先つ
 三角さんかくに摺むのです、これかもとでいろいろの形かたちが
 出來できますか、先つこれを肩掛かたかけといたしやしよ。

それから又これを二つに折つて、二のよりに小
 さな三角ちひさなさんかくにして立てますと、お山やまになります。

次つぎきにわお山わおやまを、又もとの肩掛かたかけになをして、イ
 の縁へりを少し横よこに折つて、四のよりにし、四のイと
 ロとの角かどをハの角かどに合あわせて能く線すぢを付つけますと、
 五のよりになります、これは襦袢じゆばんです。

それから又襦袢じゆばんのイとロとの角かどを折つて、襟えりの
 下したへ入れひろげますと、六の塵取ちりとりが出來できます。

これから兜かぶとを造るのですか、これは肩掛かたかけのよー

に折り又お山の様やまのようにして線すぢを付け、七のイとロと
 の角かどをハの角かどに合あせて折り、又イロの端はしを折りか
 えして、八のよりにし、又それを九のよりにをり
 そのイの所ところを一枚取つて、十の通りとにをり、その
 イとロとの角かどを裏うらの方はうえ少しをり、残のこつた所ところを全
 く裏うらにかえして、十一のよりにするので、これ
 わかぶることか出來できます。

次つぎきわ蟬せみですか、これは兜かぶとの八やちを少しかえて、
 十二のよりにをり、下の二枚ふたまい残のこつて居いる所ところは、兜かぶと
 の十じゆと同じよりに折り、次つぎきわ十一じゆと同じよりに
 をるので、二端りふたはしを深く折つて、重かさなりあう位くらいに
 し、最後さいごに折かり返かえした先さきをその中なかへはさむの
 です。

